

SPODフォーラム2011参加者の皆様へ

先日は、SPODフォーラム2011へご来場いただき誠にありがとうございました。

おかげさまで、全国各地より、4日間で525名の方にご参加いただきました。スタッフ一同、厚く御礼申し上げます。

各プログラムで修得された知識やスキルは、職場にお持ち帰りいただき、ぜひ実践していただければ幸いです。

また、フォーラム期間中には、各プログラムでのワークショップや懇親会等を通じて、参加者間での職場を越えた様々なネットワークもできたのではないかと思います。FD/SDを実践するうえで、各大学等の事例等を知りたいときは、自らが築かれたネットワークをご活用いただければと思います。

なお、アンケートにご記入いただいたご意見等は、今後のSPODプログラム開発や、次年度以降のフォーラム開催に活用させていただきますので、引き続きご参加をいただければ幸いです。

SPOD事業は文部科学省の戦略GPとして始まりましたが、平成23年度からは、加盟校からの拠出金による自主運営体制に切り替わりました。四国の国公立大学、短期大学、高等専門学校が連携・協力しながらFD/SDの自立的な取り組みをおこなっていることは全国的にも注目されています。今後もSPODフォーラムでは、皆さまにご満足いただける実践型のプログラムを用意させていただきますので是非ご参加下さい。

次年度のフォーラムでも皆様にお会いできることを楽しみにしております。

学生の豊かな学びと成長を支援する 教職員の能力開発
SPODフォーラム2011事業運営責任者 佐藤 浩章
スタッフ一同

フォーラム風景



「一人ひとりが広報パーソン」



「授業アンケートと公開授業の効果的な活用方法」



「事例から学ぶ危機管理
-東日本大震災の被災から授業開始まで-」



「部下の成長を促すためのメンタリングのコツ」



「四国キャンパス元気プロジェクト」



「グラフィックシラバスの作成方法」



シンポジウム「高等教育機関におけるマネジメント—危機管理と情報開示の意義—」



諸星裕 桜美林大学大学院教授



文部科学省高等教育局大学振興課 石橋晶課長補佐



池田輝政 名城大学教授



「何が学生の学びを促進するのか
-授業コンサルテーションの事例から-」



「授業の双方向性を高めるクリッカー入門」



「ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、
アドミッションポリシーの開発と一貫性構築の進め方」



「高専における学生サポートをどうするか？
-クラス経営・保護者対応・情報共有-」



「大人数講義法の基本」(遠隔配信プログラム)



「アクティブラーニングで授業改善
-「情報処理」を事例に-」

ご参加いただき
どうもありがとうございました